2026年11月9日

各　位

会 社 名　東亜道路工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　森下　協一
（コード番号 1882 東証プライム）
問合せ先　執行役員経理部長　戸倉　克夫
（TEL. 03 － 3405 － 1812）

2027年３月期　第２四半期（中間期）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年５月11日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

● 2027年３月期　第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異

（2026年４月１日～2026年９月30日）（百万円未満切捨て）

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	百万円 52,000	百万円 840	百万円 950	百万円 500	円 銭 10.82
実　績　値（Ｂ）	52,374	103	236	128	2.77
増　減　額（Ｂ－Ａ）	374	△736	△713	371	
増　減　率（％）	0.7	△87.7	△75.1	△74.4	
(ご参考)前期第２四半期実績 (2026年３月期第２四半期)	51,459	406	552	469	10.19

１．業績予想と実績の差異の理由

売上高につきましては、建設事業における工事出来高ならびに製造販売・環境事業における製品出荷数量が、荒天の影響により当初の想定を下回ったものの、製品販売価格の改定効果等により、当初予想と概ね同水準となりました。

営業利益および経常利益につきましては、降雨日数の増加に伴う施工可能日数の減少により、建設事業における工事出来高が当初の想定を下回ったことに加え、製造販売・環境事業においても、荒天の影響により製品出荷数量が減少したことなどから、当初予想を下回る結果となりました。

２．通期業績予想および配当予想について

2027年３月期通期の業績予想および配当予想につきましては、第３四半期以降、建設事業において豊富な手持工事を背景に、中間期に荒天の影響により遅れが生じた工事についても進捗が見込まれることから、工事出来高は回復する見通しであります。また、製造販売・環境事業におきましても、建設事業の工事進捗に伴い、製品出荷量の増加を見込んでおります。

さらに、製造コストの上昇を販売価格に適切に反映する取り組みも進展していることから、現時点では2026年５月11日に公表いたしました通期業績予想および配当予想を変更しておりません。

今後の業績動向を注視し、修正が必要と判断される場合には、速やかに適切な開示を行ってまいります。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上